



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤオコー

コード番号 8279 URL <http://www.yaoko-net.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川野 清巳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長

(氏名) 竹井 信治

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 049-246-7000
平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	117,804	9.5	6,114	39.6	6,012	39.8	3,382	48.7
23年3月期第2四半期	107,577	5.0	4,380	△3.6	4,302	△4.0	2,274	△12.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,420百万円 (49.6%) 23年3月期第2四半期 2,287百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	174.20	—
23年3月期第2四半期	117.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	95,365	43,350	45.2	2,219.51
23年3月期	91,307	40,615	44.2	2,079.54

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 43,091百万円 23年3月期 40,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	22.50	—	34.50	57.00
24年3月期	—	25.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,500	6.5	10,500	9.3	10,200	8.3	5,700	10.7	293.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	20,006,861 株	23年3月期	20,006,861 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	591,822 株	23年3月期	591,742 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	19,415,050 株	23年3月期2Q	19,415,371 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故で企業活動や国民生活に大きな影響を受けました。その後サプライチェーン（供給網）の立て直しが進み、生産活動が回復するに伴い景気の持ち直し傾向も見られましたが、欧州の債務危機・金融不安など海外経済の減速や円高・株安などにより先行き不透明な状況にあります。

個人消費は、震災直後の自粛ムードが徐々に緩和され、猛暑や電力抑制対策関連需要などにより、一部持ち直しの傾向にあったものの、デフレの影響や所得・雇用情勢の悪化懸念などから消費者マインドは弱含みで推移しております。

小売業界におきましては、震災直後は飲料、食料、防災関連商品、夏場には節電対策関連商品などの売上増加で堅調な動きを見せましたが、これらの特需が落ち着くにしたがい伸び悩みを示しております。

このような環境の下、当社グループは、スーパーマーケット事業におきまして、第6次中期経営計画（以下「第6次中計」という。）の最終年度として、その基本経営戦略であります『豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケットの充実』の実現と第2の創業・第2のステージに向けて各種施策を実施いたしました。

特に震災後、商品調達環境が厳しいなか、最大限の集荷を図るとともに、平時の売場への早期回復と当社の特徴であります提案型売場の展開に注力いたしました。また新店5店舗の開設、既存店3店舗の改装を実施するなど営業の強化を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は117,804百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は6,114百万円（同39.6%増）、経常利益は6,012百万円（同39.8%増）、四半期純利益は3,382百万円（同48.7%増）となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

〔スーパーマーケット事業〕

当期は、第6次中計の基本方針に基づいて、以下の2点を重点テーマに掲げて取り組んでおります。

①『価格コンシャスの徹底とミールソリューションの強化』

②『人材教育・育成と生産性の向上』

商品・販売面では、生鮮部門において、今朝水揚げ生かつおなど鮮度の良い商品の開発や近海魚のメニューを軸とした時間帯別MDの徹底を図るなど鮮魚部門の強化に努めました。

またグロッサリー部門では、EDLP（常時低価格販売）導入など定番商品の価格対応を強めると同時に、プライベートブランド商品の拡充により低価格商品からセミアップグレード商品までのラインアップの充実を進めました。

デリカ部門（㈱三味）につきましては、商品・MDのレベルアップに加え、仕入先の見直しなどによるコスト削減にも取り組みました。

オペレーション面では、店舗作業の標準化の推進、自動発注システムやLSP（作業割当システム）の実験導入など生産性向上の取り組みを強化しました。

またコスト削減につきましては、電力抑制対策による電気代の削減なども含め、引き続き徹底して取り組んでまいりました。

店舗につきましては、4月に市川田尻店（千葉県市川市）、大宮盆栽町店（埼玉県さいたま市）、7月に船橋三山店（千葉県船橋市）、9月に立川若葉町店（東京都立川市）、市川中国分店（千葉県市川市）の5店舗を開設いたしました。また、既存店3店舗について改装を行いました。

なお、平成23年9月末現在の店舗数は、埼玉県70店舗、千葉県16店舗、群馬県12店舗、茨城県7店舗、栃木県5店舗、東京都4店舗、神奈川県1店舗の計115店舗となりました。

以上によりまして、当第2四半期連結累計期間の営業収益は113,151百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は5,757百万円（同38.7%増）となりました。

（注）「ミールソリューション」とは、お客様の毎日の食事の献立の提案や料理のアドバイスなど食事に関する問題の解決のお手伝いをする事。

「価格コンシャス」とは、お客様が買いやすい値段、値頃を常に意識して価格設定を行うこと。

〔調剤薬局事業〕

調剤薬局事業の(株)日本アポックにつきましては、1店舗の新規出店に加え、既存店も順調に推移したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の営業収益は4,658百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は356百万円（同56.8%増）となりました（平成23年9月末現在39店舗）。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,057百万円増加し、95,365百万円となりました。これは主に、新規出店に係る投資により有形固定資産が増加したためです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,322百万円増加し、52,014百万円となりました。これは主に、借入金が増加したためです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,734百万円増加し、43,350百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

スーパーマーケット業界におきましては、欧州の債務危機・金融不安などで景気の先行き懸念が強まるなか、引き続き激しい低価格競争を中心に厳しい経営環境が予想されますが、当社は第6次中計の基本経営戦略に基づいて、『豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケットの充実』の実現に向けて努力してまいります。通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が、概ね予定通りに推移していることから、平成23年8月12日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,833	5,506
売掛金	2,275	2,348
商品及び製品	4,076	4,649
原材料及び貯蔵品	140	151
繰延税金資産	1,227	1,283
その他	3,570	3,106
流動資産合計	17,124	17,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,294	21,920
土地	28,186	31,565
その他（純額）	7,043	7,200
有形固定資産合計	56,524	60,686
無形固定資産	1,376	1,392
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,392	1,413
差入保証金	12,352	12,251
その他	2,536	2,574
投資その他の資産合計	16,282	16,239
固定資産合計	74,183	78,318
資産合計	91,307	95,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,231	13,371
短期借入金	4,050	500
1年内返済予定の長期借入金	1,859	2,140
未払費用	5,063	4,380
未払法人税等	2,748	2,678
賞与引当金	1,839	2,112
商品券回収損引当金	20	20
資産除去債務	25	—
その他	2,274	2,499
流動負債合計	31,111	27,704
固定負債		
長期借入金	7,140	12,078
再評価に係る繰延税金負債	61	61
退職給付引当金	1,512	1,579
役員退職慰労引当金	291	298
資産除去債務	1,238	1,301
預り保証金	5,080	4,835
その他	4,255	4,154
固定負債合計	19,580	24,309
負債合計	50,691	52,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,199	4,199
資本剰余金	3,606	3,606
利益剰余金	38,929	41,641
自己株式	△1,384	△1,384
株主資本合計	45,352	48,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	29
土地再評価差額金	△5,002	△5,002
その他の包括利益累計額合計	△4,977	△4,972
少数株主持分	240	258
純資産合計	40,615	43,350
負債純資産合計	91,307	95,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	102,967	112,796
売上原価	73,658	80,337
売上総利益	29,308	32,458
営業収入	4,610	5,008
営業総利益	33,918	37,467
販売費及び一般管理費	29,538	31,352
営業利益	4,380	6,114
営業外収益		
受取利息	73	71
受取配当金	2	2
その他	21	27
営業外収益合計	96	101
営業外費用		
支払利息	164	189
その他	10	13
営業外費用合計	174	203
経常利益	4,302	6,012
特別利益		
固定資産売却益	201	—
賃貸借契約違約金収入	23	4
その他	2	—
特別利益合計	226	4
特別損失		
固定資産除却損	6	4
減損損失	17	—
賃貸借契約解約損	—	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	442	—
特別損失合計	466	45
税金等調整前四半期純利益	4,062	5,971
法人税、住民税及び事業税	2,163	2,636
法人税等調整額	△396	△80
法人税等合計	1,766	2,555
少数株主損益調整前四半期純利益	2,296	3,415
少数株主利益	21	33
四半期純利益	2,274	3,382

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,296	3,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	5
その他の包括利益合計	△8	5
四半期包括利益	2,287	3,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,266	3,387
少数株主に係る四半期包括利益	21	33

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。